

社会福祉法人奈良YMCA 設立10周年感謝会



社会福祉法人奈良YMCAは、保育園運営のために奈良市より認可を受けて本年10月で創立10周年を迎えることができました。

設立当初からこれまでの10年間を振り返り、多くの方々の願い・祈り・ご支援・お働きに深く感謝し、またこの10年の節目を新たな再スタートとするために、2024年11月4日に「社会福祉法人奈良YMCA設立10周年感謝会」をYMCAあきしのこども園で開催いたしました。

当日の感謝会には、奈良YMCAの常議員、社会福祉法人奈良YMCAの理事・監事・評議員の皆さまをはじめ、設立当初よりお世話になっている地域の方々や奈良ワイズメンズクラブの皆さま、YMCA保育園当初から継続勤務の職員、園行事等に関わっていただいている公益財団法人奈良YMCAの職員の方々など多くの方にご出席いただきました。

当日のプログラムは、奈良YMCAチャプレンの平松麻那先生（日本基督教団奈良教会主任教師）の司式による礼拝で神様に感謝の祈りを捧げました。続いて式典として濱田理事長と上地総主事の挨拶の後、作家の寮美千子さんをお招きし「困った子は困っている子」と題した記念講演を行いました。

記念講演は、寮美千子さんが奈良少年刑務所で絵本と詩の教室の講師をされた経験から、実際に受刑者と向き合った実体験に基づくお話しをお聴きしました。「空が青いから白をえらんだのです」この詩をつくり朗読した少年と、その少年に拍手を送った少年たちはみんな加害者になる前は被害者でした。「人から大切にされることによって、感情や人間の心を取り戻す。」と熱く語られました。

YMCAに連なる私たちは、子どもたちを将来加害者にさせないためにも「あなたは大切な人」と伝わる関わり方をしていきたいと思いました。

最後に参加者全員でYMCAあきしのこども園の園庭にて記念撮影を撮り、終了しました。

また、設立当初から現在に至るまでをまとめた10年誌を作成し、配付させていただきました。





第13回奈良 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2024

2024年10月20日(日)：奈良市平城宮跡

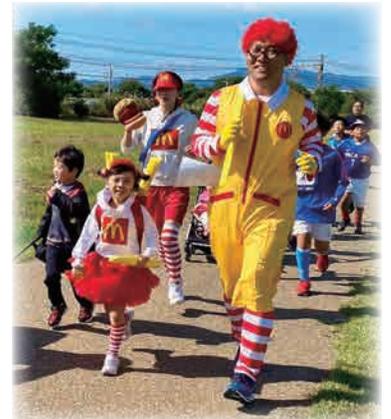
第13回奈良 YMCA チャリティーラン 2024 が奈良市平城宮跡にて行われました。

今年度も 2Km/ 個人ラン・グループラン 5Km/ 個人ラン・団体駅伝の競技に参加者が総勢 214 名と協力者 70 名、応援 150 名の総勢約 450 名の大会規模となりました。

前日は雨も降り天候の心配もありましたが、当日はとていい天気になり多世代の方の笑顔があふれていました。競技参加者ではお友だちやご家族とたくさんの方が参加してくださり、工夫の凝らしたコスチュームばかりで皆を楽しませていただきました。前回同様、イベントコーナーでは『うちわづくり』、『ロケット作り』と競技以外でも楽しむことができました。ロケット作りでは全競技終了後、自分で作成したロケットを飛ばす大会を実施し、レース以外でも大変もりあがりました。

YMCA インターナショナルチャリティーランは、全国の YMCA が障がい児支援を目的に実施され、障がいがある子もそうでない子も共に幸せに生きていけることのできる社会をめざして開催しています。今回集められました収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちのために支援金として活用させていただきます。

大会主旨にご支援、ご賛同ご協力いただいた皆さまありがとうございました。



支援金 :1,172,860 円

2024 年夏キャンプのおもいで

まえかわ ことな
新体操研究生 前川 琴凧 (おことリーダー)



こんにちは！おことリーダーです！私が今年参加した幼児対象のやまびこキャンプでは、川遊びやキャンプファイヤーをしました。保護者の方と初めて離れて過ごす夜を寂しくないように、お友だちとたくさん楽しい時間を過ごしてもらおうように意識していました。

YMCA を出発する時は不安な顔をしていたお友だちも、バスや宿でみんなと遊ぶうちに、徐々に笑顔になりました！夜は少し涙ぐむ子もいましたが、寝る直前までその日一緒に過ごしたお友だちとお話しして素敵な夜になったと思います。解散の直前にはみんなと離れることが少し寂しそうな様子で、2日間楽しんでくれた事が伝わり、とても嬉しい気持ちになれました。

ほかのリーダーにも少しお話を聞きました。

1. 夏のキャンプにリーダーとして初めて参加して、たくさんの人と泊まるための荷物管理の工夫が大切だという事を学びました。
2. 阿南海洋キャンプでのジャンボカヌーでは、みんなで声を出して息を合わせ漕いだのが楽しかったです。
3. 行きのバスの時から徐々にみんなが仲良くなっていきキャンプファイヤーを全力で仲良く楽しんでいた姿がとても嬉しかったです。

キャンプは普段から野外活動にも参加してくれているお友だちの違う姿が見られたり、初めて会えるお友だちがいたり、学生リーダー同士もさらに絆を深めることができたりと、楽しいことがたくさんです。これからも様々な YMCA 活動に参加したいと思います！



11月15日(金)～17日(日)にYMCA 東山荘で開催されました、第23回日本YMCA大会に参加しました。今回の大会では『Link!～「私」、YMCA、世界、そして未来～』がテーマで、地域や世代を超えて大会に集う仲間とともに、ポジティブネットのある豊かな社会を創り出す日本のYMCAの取り組みが、世界YMCAS Vision2030に示されている方向と同じであることを知り、2030年の社会やYMCAがどうあるべきなのかを考えました。

3日間様々なセッションがあった中で、2日目の朝に行った持続可能な地球のためにできることというセッションが印象的でした。世界YMCAS Vision2030の4つの柱の中の「Sustainable Planet」について考え、今世界で起こっていることを学び、自然エネルギーについて学びました。節電の意識やペーパーレス化などすぐできることは何か考え、行動に移していきたいと思いました。また、夜の選択プログラムでは気候変動からたで遊び、楽しく考えを深めることができたので、子どもたちとも一緒に学ぶ機会が作れたらいいなと思いました。

今大会でもペットボトルを減らすため自動販売機を給水機に変更したり、フロント売店でのレジ袋を廃止する取り組みがありました。

話を聞くだけでなく小グループでディスカッションをする時間も多く、様々な意見を聞いて新たな発見があったり、考えをより深めることができました。また、2030年に向けて奈良YMCAでもどのような取り組みができるのかを考える良い機会となりました。



保育園からのおたより

やまて さやか
YMCA あきしのこども園 園長 山出 紗野香

YMCAあきしのこども園は11月現在、143名の子どもたちが在籍しています。

秋に入り過ごしやすいう時間が増え、0歳児から5歳児までの子どもたちが元気いっぱい過ごしています。

先日、5歳児は京都YMCAリトリートセンターへキャンプに行きました。

園外へ出たの初めての泊り。ドキドキワクワクの子どもたち。キャンプではネイチャーゲームやクラフトをしました。「大きな葉っぱ見つけたよ!」「木の実もある!」と、お友だちと協力しながら見つけ、各々で自然物のランチョンマットとリースを作りリトリートセンターの豊かな自然に触れる時間となりました。

また、キャンプの前にみんなで協力してやりたいと考えていたカレー作り! グループ毎に野菜の皮を剥いたり、切ったりして熱中して作っていました。出来上がったカレーに「美味しいね。」と大満足の子供たちでした。最後はキャンプファイヤー。自然の中で普段はなかなか感じる事ができない深い時間になりました。

出発前は、少し不安そうな子どもたちもいましたが、キャンプでの2日間を通しみんなで協力して楽しむことができました。キャンプを終えて充実した笑顔の子どもたちに成長を感じています。

これからも豊かな経験ができるように、職員みんなで子どもたちに寄り添い、共に考え、日々過ごしていきたいと思ひます。



世界 YMCA 大会

11月5日(火)～10日(日)にドバイで行われました世界 YMCA 大会に参加しましたリーダーの報告です。

私たちは先日ドバイで行われました世界 YMCA 大会に参加させて頂きました。行く前は「どんな人たちがいるのか」「コミュニケーションが上手く取れるのか」と不安な気持ちでいっぱいでしたが、国も年齢も違う中、同じ YMCA に所属しているという共通点から、自分の国の話や YMCA での活動を話す中で、すぐに打ち解けることができました。そして初対面とは思えないほど仲良くなり、不安な気持ちはすぐに払拭されました。

ディスカッションでは、世界 YMCA が目標としている「世界 YMCA Vision2030」の4つの課題と SDGs をもとに議論がされ、各国のメンバーと意見交換をしてアイデアを出し合いました。例えば、アフリカのメンバーからはマラリアの根絶を目標に掲げているという話があり、「どの国の人でも地球規模の家族として助けを実行することができる。」と話されていました。日本では身近に考える機会が少ない問題にも多く触れ、視野が広がる経験でした。

世界 YMCA が掲げる課題を学んでいく中で、自分たちが普段日本の YMCA で取り組んでいる活動の一つ一つが少しでも課題に貢献している事を知り、これまでよりも普段の活動に対する理解度が深まったと感じます。

大会中は毎日違う国の参加者と話し、一緒に食事をして仲を深め、時にはダンスやサッカーを通して国や言語を超えたコミュニケーションも経験しました。また、日本のアニメや歌の文化を発表した時には、会場全体が一体となって盛り上がり、改めて日本文化が世界への広がりを感じることができました。

あっという間の一週間でしたが、今後の課題や取り組みなど学びになった部分と他では絶対に経験できない体験など、自分にとって様々な刺激を感じることができた大会になりました。



トムソーヤクラブ4回生
しみず よしひろ
清水 芳紘(ヨッシーリーダー)



トムソーヤクラブ3回生
いわさき ななみ
岩崎 七海(ケロリーダー)

IYCに参加して特に印象的だったことは、アメリカ合衆国の大統領が決まるという瞬間に様々な国の人たちの意見を聞いたことです。

私たちは開会式まで参加する国を知らなかったのので、インド・台湾・ロシア・ケニアなど世界中から集まっていることを改めて実感しました。

大統領選挙の前日には今回のIYCの司会者からランダムで「カマラ・ハリス」か「ドナルド・トランプ」のどちらが当選してほしいか聞く場面があり、その意見がとても印象的でした。中にはアメリカ合衆国の大統領選挙は世界中の人々に選挙権を与えてほしいという意見もあり、世界に大きく影響を与える選挙だと感じました。参加者の意見は様々でしたが誰も戦争が起きない世界になる事を祈っていると知ることができました。

この経験を忘れないように視野を広くして世界で起こっている出来事を考えていきたいと思います。

奈良 YMCA 国際協力募金キャンペーン 『街頭募金』

11月10日(日)に国際協力街頭募金を実施いたしました。

今年も JR 奈良駅・近鉄奈良駅行基前広場・西大寺駅・生駒駅・高の原駅の計5カ所で実施しました。奈良 YMCA プログラム会員のお友だち、リーダー、保育園の先生、奈良ワイズメンズクラブの方の大人あわせて総勢86名のみなさまにご協力をいただきました。当日は天候にも恵まれ、始めは緊張していたお友だちもだんだん慣れて堂々とした態度で大きな声で募金のお願いを呼びかけました。たくさんの方から応援のお言葉をいただいたり、募金にご協力いただきまして目標金額を達成することができました。

街頭募金総額は250,157円になります。みなさまご協力いただきましてありがとうございました。引続きよろしく願いいたします。



ポジティブネット国際協力募金キャンペーン



今年度も全国の YMCA が一致協力して、11月1日より国際協力募金キャンペーンを実施致します。世界に広がる YMCA と共に定めた行動計画「Vision2030」の推進を念頭に置き、ウクライナ避難者支援、アジア地域の子どもたちの支援、パレスチナ支援、ユース支援、被災地域支援等のための募金活動に取り組みます。そして国際理解のための活動を行い、多様な文化や価値観が存在する世界で一人ひとりが大切にされ、平和な社会を目指すという主旨のもと実施致します。

つきましては皆さまにもこのキャンペーンの主旨にご理解頂き、ご支援賜りますよう、宜しくお願いいたします。

YMCA 国際協力募金



国際協力募金に関しましてはこちらをご覧ください。

キャンペーン期間:11月1日~2025年1月31日

YMCA ポジティブネット募金 2024年9月能登半島豪雨緊急支援

YMCA では6月末まで輪島市町野町にスタッフを派遣し、避難所の運営サポートをさせていただきましたが、その街並みが浸水し再び避難生活を余儀なくされている様に関係者一同、心を痛めております。YMCA には震災による避難所支援活動でつながりができた町野町のみなさんの助けを必要としている声がたくさん届いています。

震災と水害の両方の長期支援が必要となることが確実であるなか、被災地支援のための緊急募金を開始しております。ご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

◆募金方法:奈良 YMCA の窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお振込みください。

- ・南都銀行 西大寺支店 普通 口座番号:0181175
公益財団法人奈良 YMCA 救援募金
- ・郵便振替 00920-5-1899
公益財団法人奈良 YMCA

緊急支援募金期間
2024年12月31日まで
(被災地の状況にあわせて募金期間は延長される場合があります)

維持会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2024年12月現在・敬称略

【維持会員】

中野 敬一

汐碓 直美

賛助会員のご案内は
こちらをご覧ください。▶



奈良 YMCA の活動情報など是非ご覧ください!



公益財団法人 HP



社会福祉法人 HP



各プログラム
Facebook 一覧



公益財団法人
Instagram



社会福祉法人
Instagram



クリスマスカード



奈良 YMCA の使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを
実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。
私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいつくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、地域と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

2024 年度 基本聖句
(コロサイの信徒への手紙 3 章 14 節)
愛を身につけなさい。
愛はすべてを完成させるきずなです。